

# 町長地元懇談会(第1区)

平成28年4月23日(土)19:00~20:32 参加者33名

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
1	園部団地の整備について、今後説明会の開催等をする予定はあるか。どれくらいの震度まで耐えられるかという基準はないのか。基山保育園でも生徒が多くいるので、災害に備えて整備について、早急に取り組んでいただきたい。	入居者がいるので、具体的に建て直す計画ができた場合には、説明会の開催を行う。【町長】 大手のハウスメーカーでは、実験施設を持っているので営業用に基準を出している。通常の一般建物では、国が示している最低の基準をとっているが、一般の建物については、環境条件によって左右されるので、震度の計算までは示されていない。【建設課長】	町営住宅 防災	町長 建設課長	
2	3年前に土石流危険区域の調査を行い、危険区域については、災害マップに掲載しているが、土石流に対してどういう防災対策事業を考えているか。災害により住居が被害にあった場合には、どういう対応を考えているのか。	土石流対策としては、県の事業により砂防ダムや堰堤を作ったりするのが効果的だと思っている。今のところ1か所については予定があるが、他の地域については予定はない。土石流が起きたときに、避難地区に対しての避難経路、避難場所を地元の方に周知したり、避難訓練等を実施する必要がある。【総務企画課長】 危険地域については、68件把握しており、避難所を設置した際には登録者へ避難所の案内を行っている。【町長】 熊本地震では、避難された方が2日間で56人いた。熊本の被災者の方へ町営住宅への優先しての貸し出しをしている。万が一町内で起きた場合にも同様の検討を行う。【町長】	防災	総務企画課長 町長	
3	1区の避難場所は中学校になっているが、一人で行けない人に対しては、どういう対応をしているか。高齢者支援策については、どのような事業があるのか。	災害時要援護者の登録をしておき、支援者として登録をいただいている方に避難所への誘導してもらっている。また、役場に連絡をいただいたら、役場で対応を行う。【副町長】 昨年2区の避難訓練でも要援護者の避難訓練を行っている。【副町長】 高齢者支援策については、総合戦略としては相談体制の強化を行っている。また、コミュニティバスにより買い物支援や社会福祉協議会でワンコイン程度でお手伝いをする事業を開始している。他にも徘徊高齢者への声掛けの訓練を行っている。楽しいシニアライフについては、サロン活動の充実やSNS、タブレットの使い方の講義であったり、スロージョギングということで健康づくりにつなげる事業を行っている。【総務企画課長】 基山町では、近い将来高齢化率が30%を超えることが予測される。地域においても、公民館等を拠点とした高齢化対策としての仕組みづくりを検討していただきたい。【町長】	防災 福祉	副町長 総務企画課長 町長	
4	医療費助成について、高校生までの拡大の可能性はあるか。	現在、中学校までの医療費助成を行っており、高校生については、入院までを検討している。福岡県では、医療機関で受診時に500円程度の支払いで済む現物給付となっているが、佐賀県では、一度全額自己負担を行い、請求すると還付される償還払いとなっている。町単独では難しいので、佐賀県で足並みを揃える必要があり、平成29年度から佐賀県で現物給付化の準備を進めている。【町長】	子育て支援施策	町長	
5	子育て支援については、お金をかけてもPRして欲しい。基山町は福岡への通勤圏内として人口が減る場所ではないと考えている。知人が基山町へ転居を検討していたが、学校にクーラーがなかったために、別の場所に住んだと言われた。鳥栖市は小中学校のエアコンは設置されているので、検討をお願いしたい。	子育て支援については、施策とあわせて子どもの写真を掲載するなどして、PRしていきたい。クーラーの要望については、他の区でも要望はでていたので、優先順位を上げていきたい。【町長】	子育て支援施策	町長	
6	ふるさと納税の状況はどうか。	ふるさと納税については、上峰町は24億円、みやき町・玄海町が10億円を超えている。基山町では6千万円程度であり、そのうち町への寄与は半分くらいとなる。7月にふるさと納税の品目の見直しや寄付金の使用目的を明確化することを予定している。【町長】	ふるさと納税	町長	
7	人口推計について、どの程度減少すれば市町村合併を検討するのか。また、現時点で検討しているのか。	現時点では、合併について考えていない。今のペースでいくと①の推計になると考えているが、推計の②、③をめざしていく。行政サービスが低下し、人口の半数以上が鳥栖のサービスが良いとなれば合併を検討しなければいけないと考えている。【町長】	市町合併	町長	
8	調整区域の見直しについて、田んぼを住宅にしたほうが良いと考えている。市街化区域を広げていくことはできないのか。	農振地域の青地で、ほ場整備したところは難しいが、白地であれば開発できる手法がある。佐賀県と鳥栖市の両方に市街化区域拡大のアピールをしていく。また、町内に家を建てれば人口が増えると考えられる人が多いが、3年で人口は400人減っており、世帯数は200世帯増えている。要因として、町内で転居したり、町外から単身での転入が増えている。戸籍人口が住基人口より増えたら町の衰退を表すと考えているので、施策を考えている。皆さんからもアイデアをいただきたい。【町長】	産業振興	町長	

# 町長地元懇談会(第1区)

平成28年4月23日(土)19:00~20:32 参加者33名

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
9	産業用地の拡大による企業誘致についてどう考えているのか。 旧公民館、旧庁舎など町内の空き家を早く活用して、家を建てるなどの検討をしていただきたい。	町道の草刈りなど、企業のために支援することも企業の誘致につながると考えている。平成28年度から企業と連携して、企業の説明会及び工場見学を開催したいと考えている。また、子育てしている方々への仕事の在り方として、インターネットを通じて都市圏から仕事をもってくるような仕組みづくりを検討している。【産業振興課長】 企業の誘致策について6月議会への提案を検討している。また、P8(2)町有地の調査(3)中心市街地の活性化(7)サービス付き高齢者向け住宅(8)若者向け住宅の4つをセットで考えている。サービス付き高齢者向け住宅については、高齢者の町内移住により、若者世代の転入促進を行いたい。役場跡地に若者向け住宅の検討をしている。旧公民館については、実松川の改修が始まったので、移転先として用地交渉を行うことになると考えている。【町長】	産業振興	産業振興課長 町長	
10	町有地の調査は、家を建ててもらおうようにするための施策なのか。 調査して、民間業者への入札を行うのか。	大きい土地であれば把握をしているが、小さい土地については把握できていないため、調査を行っている。民間の活力の活用などについては、積極的に検討を行う。【町長】	定住促進	町長	
11	消防の格納庫の老朽化が進んでいる。火の見やぐらの腐食が激しいので、立替えが必要である。また、格納庫にトイレがないため移転か建替えについて、どういう申請が必要なのか指導していただきたい。 格納庫はどこが管理しているのか。 2部の場合は、1区と11区で構成されているので、格納庫の場所も含めて相談に乗っていただきたい。	ホース掛け設備については、補助金交付要綱により全額の補助を行う。改築・新築に関しては、400万円を上限に3分の2の補助が可能である。格納庫が老朽化しているため、移転を含めたところで個別に協議をさせていただきたい。【総務企画課長】 格納庫は各区が管理している。ホース掛けについては、一旦立替えが必要であるが100%の補助である。【副町長】 1区と11区の間に入り、調整を行いたい。【町長】	防災	総務企画課長 副町長 町長	